

君の
コンさる

今日も視界良好

⑤「来期方針について」 中小企業診断士 長尾 康行

当社は12月決算ですのでこの季節になると来期の方針について考えることが多くなります。当社では年間の売上や利益など、いくつかの指標について数値目標を設定します。来期はそれらに加えて職能と給与体系について明確にしたいと考えています。役職をいくつかに分け、それぞれに求める能力や期待する業務を明確にし、給与も役職ごとに設定します。そうすることで今自分が求められている仕事や、次の役職へステップアップするためには何が必要なか、また給与がどのように変わるのかを本人が理解することができます。

全社の売上や利益の目標を立てるだけでなく、社員の皆さんがどのように成長していくかのキャリアアッププランを提示することも経営者の重要な仕事です。年末年始はこれまで頭の中で考えていた、キャリアアッププランや経営戦略などについて明文化し、来期の期首に発表できるように準備したいと思います。

⑥「年100時間の教育時間を確保する」 中小企業診断士 木戸 貴也

経営コンサルタントは職業柄、自分自身で何を学ぶべきか、何を習得するべきかを考え、スキルアップしていくものだと思いますが、約1年間で未経験者や新卒、無資格者の採用で社員数が増加し、事業規模や業務量の拡大に各自の成長が追いついていないことも事実です。基本的にはそれぞれが自発的に成長するスタンスを取りながらも実務上、必要なスキルについては月1回程度の勉強会で補充しています。また、個人面談を毎月実施し、各自の行動目標や業務内容、フリートピックスなどをもとに意見交換しています。年間100時間が十分とは思いませんが、この1年間で100時間確保することが今の目標です。

⑦「時間の使い方を考える」 椋本 啓嗣

早いもので、今年もあと1ヶ月となりました。今年1年を振り返ると仕事やプライベートにおいて満足できる面や満足できない面があるように感じます。満足できない面の多くは、自分に起因するものばかりで、以前ニューズレター4月号で掲載しました「年齢＝今年やること」で手帳に書いていた29個の今年やることも、すべて実現することができませんでした。時間を作ればできたこともたくさんあり、来年は特に時間の使い方を意識して日々を過ごしていければと思います。12月は年末や正月など比較的時間を作ることができるタイミングがあるので、ダラダラ過ごさずこれを機に来年に向けた時間の使い方を実践していこうと思います。

⑧「ふとしたきっかけから大きな成長へ」 事務担当 松野 あやか

2021年も残り1カ月、今年も1年があっという間だったように感じます。この1年間を振り返ってみると、さまざまな気づきがありました。業務での学びはもちろんのこと上司や先輩と雑談をしている中でも、興味を持った事柄やわからない言葉は携帯や普段使用しているメモに残し、後日調べていました。その事柄が些細なことであっても、いろいろな視点から考えることで、見えなかったモノ（＝新しい発見（視点））が見えるようになりました。弊社では、視野・見聞が広がる講師持ち回りの勉強会を毎月実施しているのですが、5月の勉強会で上司の木戸から論理的思考や広い視野（バランスの取れた考え・意見・複眼的）についての勉強会も実施してもらい、改めて偏った考え・自分の意見ではなく、広い視野を持たなければならないと学びました。それと同時に、広い視野を持つということは、自分の考えや価値観だけでなく、広い心を持っていることが前提だと思っています。（広い心がなければ、自分以外の考えや価値観を否定、受け入れることができない!?）自分と違った価値観や考えだとしても受け入れ、自分の周りで起こっていることに対して試行錯誤を重ねることが大きな成長に繋がっていた1年でした。

⑨「健康第一」 杉原 千尋

「健全な精神は健全な肉体に宿る」とはよく言ったもので、体調の良し悪しがパフォーマンスに大きく作用するシーンを度々感じています。体調と言っても色々ですが、やはり一番影響が大きいのは睡眠時間です。睡眠が不足すると集中力が低下するほか、消化器の不調や目のかすみなど肉体のあちこちで損耗が発生し、結果として精神的に悪いことしか引き起こしません。日常生活も仕事と同じようにきちんとスケジュール管理をし、規則正しい生活を送ることを目標にして、今年の残り1ヶ月を走り抜けたしたいと思います。

⑩「読書」 インターン生 橋本 大治

もうすぐ2021年も終わります。2021年はこれまでの人生の中で最も早い一年だったように感じます。私にとってこの一年間は最も読書をした一年間でした。私は読書を進んでする性格ではないのですが経営に関する本や金融に関する本、モチベーションに関する本など様々な本を読みました。本を読んだだけなので知識も断片的で直接スキルアップにつながるということはありませんでしたが、それでも読書はこの仕事をする上で必要不可欠だと感じました。コンサルタントという仕事はお客様のコンサルティングを行うのが仕事なため、知識なくして務まりません。購入しただけで読んでいない本も何冊ありますが少しだけ読書に対する抵抗感が薄れたようにも感じます。読書を通じて経営に対する考え方が変わったりもするため2022年はより多くの書籍を読みしたいと思います。

⑪「最強チームをつくる方法」 インターン生 秋定 皇輝

最強のチームを作り方とは。それは、「このグループに所属していいんだ、ここにいていいんだ」という心理的な安心感を与えることで作れるそうです。これは、「今もそしてこれからもありのままに居て大丈夫」という個人を尊重し未来を約束することで作れ、カリスマといった人物を筆頭にではなく、メンバー同士で作ることができるそうです。一方でリーダーは、権威にならず、トップダウンだけでなく常に反論や反対意見を吸い上げるようにしなければならず、弱さを見せ、繰り返しシズムを伝えるということを、普段のコミュニケーションを通じて行うことで、最強のチームが作れると教示されています。その他にも、字数の関係で紹介を割愛させていただきますが面白い実験が紹介されていたりして興味深かったので今回は本書を紹介させていただきます。



「最強チームをつくる方法」



⑫「今年学んだこと」 インターン生 垣口紗花（かきぐち すずか）

あと1か月ほどで2021年が終わります。今年が終わることが早くて驚いています。2021年は様々なことを経験しました。大学の授業ではオンラインから対面が増えました。大学に行くことによって友達が増え、色々な人と話し、大学の先生と話もできました。そしてフラッグシップ経営でインターンとして働かせていただくことができました。上司や先輩には仕事だけではなく、経営に関する内容やビジネスマナーなど教えていただきました。しっかりと教えていただいたことを吸収してこれからは活かしていきます。

弊社では経営に関することを勉強会で教えていただくのですが、そこでは大学の授業では学ばないこともあり、とても勉強になります。勉強会以外でも普段から学ぶこともありました。例えば、周りを見ることです。上司や先輩は私が悩んでいるとすぐに声をかけてくださいます。他にも室内が過温かどうかを聞いてくださったり、私が会議で理解できず、後で調べようと思っていたことでも丁寧に教えてくださいました。私は非常に感謝し、将来このような先輩になりたいと感じました。そこから日常生活でも周りを見て、何か悩んでいる人に声をかけるように心掛けています。2021年の1か月間、悔いのないように過ごしたいと思います。よろしくお願いたします。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-12-8 関西心齋橋ビル8階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中!

